

## ナプロアース社長通信\_第 18 回

今年も間もなく終わろうとしています。子供の頃は 1 年を長く感じたものですが、この歳になると 1 年はアツと言う間に過ぎ去っていく感じがします。(これについて少し調べてみました。ジャンネーの法則→主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く評価されるという現象を心理学的に説明した法則。例えば 50 歳の人間にとって 1 年の長さは人生の 50 分の 1 ほどであるが、5 歳の人間にとっては 5 分の 1 に相当する。よって、50 歳の人間にとっての 10 年間は 5 歳の人間にとっての 1 年間に当たり、5 歳の人間の 1 日が 50 歳の人間の 10 日に当たることになる。)

今年 1 年を振り返ると、若い人が急成長しながら進化していると感じた反面、いわゆる中年と言われた方々の成長は確実に鈍化していると感じました。仕事や委員会活動を通して人間的な成長を推し進め、会社を離れても見識を深めてもらおうと様々な資格取得を応援していますが、数名の方しか資格取得できなかったと聞き、私にとっては大いに不満の残る結果となりました。与えられた仕事を決められた手順で作業しているだけでは、人としての成長は難しいはずで、1 年 1 年を大切に過ごし少しでも成長する誇らしい生き方をして欲しいと願っています。

誇らしい生き方を私らしく伝えると、常に思い描いている事で、死を迎えた時に『悔いの無い人生だった』と思える生き方を指しています。仕事も遊びもプライベートでも全ての面で精一杯の取り組みなければ後悔するのは目に見えています。「仕事が楽しくない」とネガティブな発想を持っている方々は、誰かがこの現状を打破してくれると全て他人を頼りにしています。「仕事が楽しくて仕方ない」とポジティブな発想で生きている方々は、自らが原動力となり周りを引っ張っています。どちらが幸せな生き方で、悔いの無い人生を送れるか、伝えなくても分かると信じています。私は常にポジティブに物事を考え、悔いが残らない人生を選択していると思ってください。

今年最後の手紙となるので、1 年間の成果を総括しておきます。

事業そのものは数年前より大幅に改善され、単月黒字となる月もあり、危機的状況は打破し、安定してきていると評価しています。しかし、まだ賞与の原資を生み出すほどの収益を得られませんでした。経営計画で発表した通り、収益の 15%は社員へ還元すると決めていましたが、願いが叶わず非常に残念です。私たちの行く手を阻むようなマイナス要因（価値車の減少や素材関係の下落など）はあるものの、今までとは違う目線で（柔らかな発想力を身に付けて）対策を練り、自ら立てた部署目標を達成し、次回は是か非でも賞与を勝ち取ってください。

1 年の締め括りに、社是である『道理再来』（道 = 武士道、道理 = 人が行なう正しい道、再 = リサイクル・再生、来 = 子供達が夢見る企業）の考えを再確認しておきましょう。また、私たちの仕事は環境を守るリサイクル事業という誇らしい役目を授かっていると共に、仕事を通じて多くの方を幸せに導く役目がある事を忘れないでください。今年 1 年間、ご苦労様でした。

平成 30 年 12 月吉日 池本 篤